

県外派遣報告書

審判員名	若林 哲	所属	U15(中体連)		
大会名	第48回 関東中学バスケットボール群馬大会				
期 間	平成30年8月7日(火)～8月9日(木)				
会 場	ALSOKぐんまアリーナ				
スケジュール					
期 日	内 容	場 所			
8月7日(火)	審判会議、レクチャー、1回戦	ALSOKぐんまアリーナ			
8月8日(水)	2回戦、準々決勝	ALSOKぐんまアリーナ			
8月9日(木)	準決勝、決勝	ALSOKぐんまアリーナ			
会議 講義 内容					
大会開催に先立って渡邊関東審判委員長よりお話があった。今年度より、関東大会は全てのカテゴリーを3POで実施する。3POのメカニックや考え方は年々変化しており、審判員も柔軟な対応が求められる。また選手やチームにとって最も大切なことは、正しい判定である。正しい判定をするために、正しくメカニックを理解し、実行して欲しいというお話を頂いた。 平原副委員長からは、実技を伴うレクチャーをして頂いた。3POについてはFIBAとJBAの間でも多少の違いがあるが、これも柔軟な対応が必要だというお話があった。実技の内容としてはトレイルからリードに入る際の視線やセットアップポジション到着時の止まり方、トレイル時の位置、チェックイン・チェックアウトの実技を行った。特にチェックイン・チェックアウトの練習は普段そこまで意識したことがなかったが、実際にやってみて3名の役割を明確にするためにも必要なことだということを痛感した。					
実技					
担当試合	期 日	8月8日(水)	男子 女子	2回戦	
	対戦カード	山中湖(山梨)	VS	桐生広沢(群馬)	U1
	相手審判	CC: 加藤暁生氏(東京) U2: 井澤元花氏(東京)			
ミーティング内容		主任	長谷川裕氏(指名、神奈川)		
特に大きな現象もなく、クリーンなゲームだった。メカニックの面で言うと、もっとアウトサイドインのアングルを意識すること。TやL時に内側に入り過ぎてしまったり、体の向きがフラットになってしまうことがある。自分から見えないアングルは必ず他の2名が捉えてくれるはずなので、自分しか捉えられないアングルをキープすることが大切である。プレゼンテーションについてもファウルコールをした後など、工夫の余地がある。					
全体の感想					
今回は委員長枠として派遣して頂き、割当を頂くことができました。まずは心温まる受け入れをしてくださいました群馬県協会の皆様、そして本来は派遣審判員ではないにも関わらず最終日まで派遣して下さった埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。 今大会で強く実感したのはプライマリーエリア・プライマリーアングルの重要性です。3POでは3名の役割が2POよりも明確で、それぞれの役割を徹底することがより重要になります。プライマリーではないプレイを判定しようとするとう間違いを犯すことも増えますし、お互いの信頼関係にも影響します。県内の大会では1人で全てのやろうとする癖がついてしまっているように思います。もっと勇気を持って相手を信頼し、自分の役割に徹することが必要だと感じました。 また今回の派遣は連盟長として初めての派遣でした。来年度は埼玉県で関東中学が開催されます。群馬県の皆様の目立たないながらも決め細やかな対応を目の当たりにして、とても感銘を受けました。来年度の運営に向けて参考にさせて頂きたいと思います。 今回の派遣で実感したことを日々の審判活動に反映していくことをお約束して、今回の派遣報告とさせて頂きたいと思います。ありがとうございました。					